

## 新 旧 対 照 表

### 改 正 前

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘 要	試験場所の区分
14 アンカー工	施工	必須	モルタルの圧縮強度試験	JIS A 1108	設計図書による。	2回(午前・午後)/日		Ⅰ センターで行う
			モルタルのフロー値試験	JIS R 5201	設計図書による。	繰り返せ開始前に試験は2回行い、その平均値をフロー値とする。		イ
			多サイクル確認試験	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説(JGS4101-2000)	設計アンカー力に対して十分に安全であること。	・原則として5%かつ3本以上。 ・初期荷重は計画最大荷重の約0.1倍とし、引き抜き試験に準じた方法で載荷と除荷を繰り返す。	但し、モルタルの必要強度の確認後に実施すること。	イ
			1サイクル確認試験	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説(JGS4101-2000)	設計アンカー力に対して十分に安全であること。	・多サイクル確認試験に用いられたアンカーを除く全本数 ・初期荷重は、計画最大試験荷重の約0.1倍とし、計画最大試験荷重までの載荷した後、初期荷重までの徐荷する1サイクル方式とする。	但し、モルタルの必要強度の確認後に実施すること。	イ
		その他	その他の確認試験	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説(JGS4101-2000)	所定の緊張力が導入されていること。		・定着時緊張力確認試験 ・残存引張力確認試験 ・リフトオンテスト 等があり、多サイクル確認試験、1サイクル確認試験の試験結果をもとに、監督員と協議し行う必要性の有無を判断する。	イ

### 改 正 後

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘 要	試験場所の区分
14 アンカー工	施工	必須	モルタルの圧縮強度試験	JIS A 1108	設計図書による。	2回(午前・午後)/日		Ⅰ 30%以上センターで行う
			モルタルのフロー値試験	JIS R 5201	設計図書による。	繰り返せ開始前に試験は2回行い、その平均値をフロー値とする。		イ
			多サイクル確認試験	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説(JGS4101-2000)	設計アンカー力に対して十分に安全であること。	・原則として5%かつ3本以上。 ・初期荷重は計画最大荷重の約0.1倍とし、引き抜き試験に準じた方法で載荷と除荷を繰り返す。	但し、モルタルの必要強度の確認後に実施すること。	イ
			1サイクル確認試験	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説(JGS4101-2000)	設計アンカー力に対して十分に安全であること。	・多サイクル確認試験に用いられたアンカーを除く全本数 ・初期荷重は、計画最大試験荷重の約0.1倍とし、計画最大試験荷重までの載荷した後、初期荷重までの徐荷する1サイクル方式とする。	但し、モルタルの必要強度の確認後に実施すること。	イ
		その他	その他の確認試験	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説(JGS4101-2000)	所定の緊張力が導入されていること。		・定着時緊張力確認試験 ・残存引張力確認試験 ・リフトオンテスト 等があり、多サイクル確認試験、1サイクル確認試験の試験結果をもとに、監督員と協議し行う必要性の有無を判断する。	イ